

■ 赤穂市ホームページ  
<https://www.city.ako.lg.jp/>



■ AKO MAG  
<https://ako-mag.jp/>



■ Instagram「潮風養生赤穂」  
<https://www.instagram.com/yojo.ako/>



■ 赤穂市移住・定住サイト  
<https://ako-mag.jp/sumo/>



■ Instagram「え-で赤穂」  
[https://www.instagram.com/eede\\_ako/](https://www.instagram.com/eede_ako/)



■ Instagram「kosodateako」  
<https://www.instagram.com/kosodateako/>



お問い合わせ先

発行：一般社団法人あこう魅力発信基地  
発行日：2026年2月

〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋 81 番地  
TEL：0791-43-6931 FAX：0791-46-3400

企画／編集：SANSAI Inc.  
イラストレーション：田切佳穂

兵庫県 赤穂市 移住・定住ガイドブック

# FOCUS AKO

赤穂に、おかえり。



やっと見つけた、暮らしよさ。





**北部地域**  
 緑あふれる山並みと田園風景に囲まれ、四季折々の自然の移ろいを肌で感じながら、畑仕事やのんびりとした暮らしを楽しみたい方にぴったりの地域です。縄文・弥生時代や古墳時代の遺跡が発掘されているエリアもあり、太古の歴史を感じられます。



# 自然が近く空が広い、 便利で暮らしやすいまち。

「忠臣蔵のふるさと」や「塩のまち」として知られる赤穂市は、兵庫県の西南部、岡山県との県境に位置しています。まちのほぼ中央に、名水百選に選ばれた千種川が流れ、北には山々が連なり、南には瀬戸内海国立公園に指定された美しい海岸線が広がるなど、豊かな自然に恵まれ、空の広さを実感できます。また、多くの公園や、学校、保育施設も充実し、中心部から半径2キロ圏内には商業施設や医療機関が集まっています。都市機能もコンパクトに整っているため、子育て世帯やスローライフを望む人々にとって、暮らしやすいまちです。

面積：126.85 km<sup>2</sup>  
 (内森林率 64%)  
 人口：43,874 人  
 (2025年3月31日現在)

**赤穂市の産業**  
 本市の産業は、農業・漁業、工業、商業に大別できます。農業は瀬戸内の温暖な気候を活かした水稲が主体で、その他みかんやいちごなどの栽培が行なわれています。漁業は近年「つくり育てる漁業」に力をいれており、中でも牡蠣養殖が盛んです。



**南部地域**  
 穏やかな瀬戸内の風が吹く赤穂市の海エリアは、温泉や観光施設に訪れる人々でにぎわいます。歴史あるまちなみが広がるエリアもあり、美しい風景と共に流れるゆったりとした時間や、夕暮れに染まる海の景観は訪れる人々の心を癒します。

## STORY 01

松原さん：結婚をきっかけに赤穂へ移住。夫と、子ども2人の4人暮らし。赤穂での子育てについてのインタビュー動画は、右の二次元コードから。



「結婚を機に移住し、子育て世帯が入りやすい、地域性がありました。」

赤穂市出身の夫との結婚を機に移住しました。住まいを探す中で、坂越が若い世代が増えている地域だと知り、実際に訪れて同世代の子どもが多い環境に魅力を感じて移住を決めました。小児科や公園、児童館などが充実しており、子どもが安心して育つ環境が整っています。保育園の延長保育もあり、仕事と家庭の両立もしやすいです。休日は家族で公園に遊びに行ったり、海で釣りをすることもあります。また、洋服を買う場所や、スーパー、病院、美容院もあるので、自然と街のバランスが良く、子育てはしやすいと思います。

— Uターンで起業 —

「身近な人にこそ、自分のパンを食べて欲しい。」

赤穂市にUターンして、パン屋を開業して3年になります。

より身近な人に、自分の作る質の良いパンを食べてもらいたいという思いから、東京のパン屋で修業を積んだ後、資金を貯めるために別の仕事も経験し、独立しました。原料となる小麦は、国産小麦や有機食材を扱う生産者さんから仕入れて店内で挽くなど、素材の良さを大切にしています。その良さが、食べてくれた人に自然と伝わり、暮らしに根付いていくと良いと思っています。

土地や人とのつながりに支えられ、今では市外からの来店も増えました。将来的にはカフェを併設したベーカリーに発展させ、パンを通じてゆったりとした時間と文化を育んでいきたいと考えています。



## STORY 02

西角さん：東京のパン屋で修行後、Uターンして加屋屋エリアでパン屋を開業。日々の想いや今後についてのインタビュー動画は、右の二次元コードから。



## STORY 03

吉田さん：東京から赤穂緞通の伝統技術を受け継ぐ目的で赤穂市へ移住。リモートワークと修行に励む暮らしのインタビュー動画は、右の二次元コードから。



東京で開催されていた展示会で赤穂緞通に出会い、その魅力に惹かれて移住しました。現在は定期的に東京での仕事をリモートワークで続けながら、赤穂緞通制作の研修を両立しています。赤穂緞通は、色の違う糸の境目を、ハサミでくっきりと出す仕上げの技法が特徴的です。制作には途方もなく長い時間がかかりますが、手を動かす時間は心が落ち着き、スピード感のある東京の仕事とは対照的で、生活のバランスにもつながっています。赤穂の静かな環境も創作に向いており、今後は作品の魅力を多くの人に伝え、赤穂の文化とともに新しい物語をつくっていきたいと考えています。



「手仕事の魅力に惹かれてー  
東京の仕事と、赤穂での  
手仕事のバランスがいい。」



一家業を継ぐため地元へー

「香り・風合いが良い  
手描きの提灯にこだわる」



神戸でのサラリーマン生活を経て定年後に故郷の赤穂へ戻り、提灯職人として再出発しました。海と歴史ある坂越のまちなみに囲まれながら、穏やかに手仕事と向き合う日々を過ごしています。提灯は、九州や奈良から素材を仕入れ、手書きで屋号を描くなど、伝統的な技法を守り続けています。墨を重ね、提灯の内側に台紙を合わせ、光をともし透かせることで仕上げていく技法は、「裏書き」と呼ばれる伝統技法の一つ。より美しく仕上げるのがこだわりです。現在は、地域の神社や自治会からの依頼を中心に提灯制作を行っていますが、今後は和紙を使った灯りや和傘など、新しい表現にも挑戦していきたいです。

## STORY 04

山口さん：定年後、神戸から家業を継ぐ形で提灯職人としてUターンした。海辺の坂越エリアでの提灯作りの日々のインタビュー動画は、右の二次元コードから。



「移住者の心強いお母さん」

「移住者ウエルカム！」

一緒に呑みましょう！」

地域を盛り上げるため、移住者でお酒好きのおかんたちが集まって「おかん部」を結成しました。

2014年頃から、赤穂市坂越の酒蔵「奥藤酒造」を拠点に、食のイベント「おくとう市」などを通じて、まちの賑わい作りに取り組んできました。現在では500人以上が訪れる人気イベントへと成長しています。

「おかん部」の運営は、私を含めた3名の有志で行っており、人とのつながりを大切にしています。これまでの活動を通じて関わった移住者も自然と地域に溶け込み、今では若い移住者たちも地域を盛り上げる活動に参加しています。

また、夜には「煉瓦屋 R」を営業しており、食事やお酒を通じて人が集う交流の場として親しまれています。今後も、移住者と地元をつなぐ拠点を目指していきます。



### STORY 05

新井さん：地域を盛り上げる女性グループ「おかん部」主要メンバー。煉瓦屋Rというお店での移住者ウエルカムな日々のインタビュー動画は、右の二次元コードから。



—Uターンで公務員—

「自分の『やってみたい』という思いを大切にしたい」

### STORY 06

中島さん：各地で経歴を重ねUターン。赤穂市役所職員の顔に加え、狩猟を通して自然と対話するような暮らしのインタビュー動画は、右の二次元コードから。

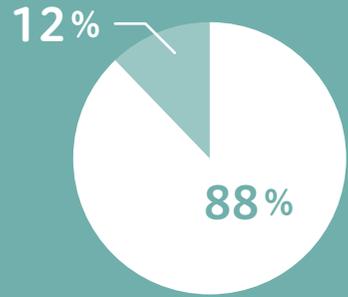


赤穂市で生まれ育ち、大学進学を機に赤穂を離れました。幼い頃から自然や生き物が好きだったことから大学では獣医学を学び、その後狩猟や自然体験活動に興味を持ち、地域おこし協力隊として活動するなど、自分の思いを大切に人生を歩んできました。

今は、これまでの経験を活かして地元に貢献するため、Uターンして赤穂市職員として働いています。担当業務として農業や野生動物対策に携わるほか、自分が赤穂市のためになると思った様々な施策を提案してプレゼンするなど、精力的に活動しています。また、猟友会に所属し、野生動物による農業被害軽減のために捕獲活動に従事し、狩猟やジビエの魅力を発信しています。



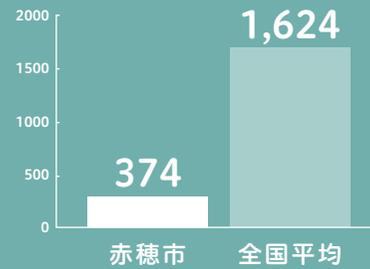
# 赤穂市の暮らしよさ



## 温暖で晴れの日が多い

雨が降らなかった日：  
366日中、322日

令和6年度版赤穂市統計書



## 日本一安い水道料金

家事用 10㎡あたりの料金  
赤穂市：374円  
全国平均：1,624円

公益社団法人日本水道協会水道料金表  
(令和6年4月1日現在)



## 公園が充実

一人あたりの公園面積  
赤穂市：43.5㎡  
兵庫県：11.9㎡  
全国：10.9㎡

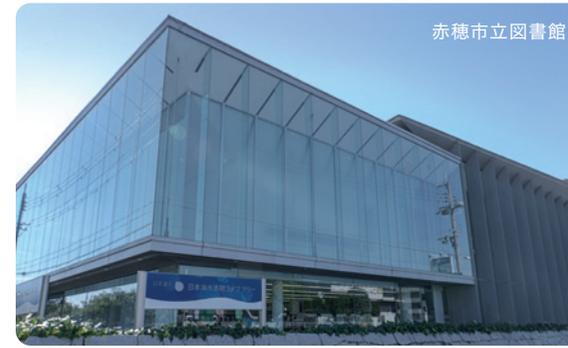
赤穂市：令和6年版赤穂市統計書  
全国・兵庫県：国土交通省「都市公園データベース」(令和6年3月31日現在)



## 災害が少ない

過去20年に震度1以上が発生した回数  
赤穂市：69回(震度4以上：1回)  
東京都A区：1,785回(震度4以上：19回)

気象庁「震度データベース」観測期間 2005/1/1～2024/12/31



赤穂市立図書館

## ＼充実の文化・スポーツ施設／

日本の最も美しい図書館の一つにも選ばれた市立図書館をはじめ、文化会館や温水プール、ジムも備えた総合体育館など、公共施設が充実。読書や文化鑑賞、スポーツなど、様々な楽しみが広がっています。



赤穂温泉

## ＼海と山と川、そして温泉のあるまち／

海も山も川もある豊かな自然も大きな魅力。休日には釣りやトレッキング、キャンプなど、自然と触れ合う楽しみが溢れています。また、穏やかな瀬戸内の海を望む温泉は「よみがえりの湯」とも称され、優れた泉質が自慢です。



播州赤穂駅

## ＼都市へのアクセスも抜群／

実は交通アクセスも抜群。神戸まで電車で約70分、大阪までは120分、岡山まで70分と、都市圏にも気軽に出かけられます。都会の楽しみも味わいつつ、日常は自然豊かな場所でゆったり過ごす、そんな心地良いライフスタイルも実現します。



赤穂すこやかセンター

## ＼健やかな暮らしをサポート／

赤穂には総合病院をはじめ、個人病院や歯科医院も多く、医療体制が充実しています。市の保健センターや地域包括支援センターでの相談体制も整っており、小さなお子さんから高齢の方まで健やかな暮らしをサポートします。



坂越かき

## ＼海の幸、山の幸を満喫／

自然豊かな赤穂は、食も大きな魅力。全国的にも人気の高い塩やブランド牡蠣のほか、赤穂みかんやいちごなど、地元でも愛される食材がたくさんあります。直売所や地元のスーパーで手軽に購入できるのもうれしいですね。

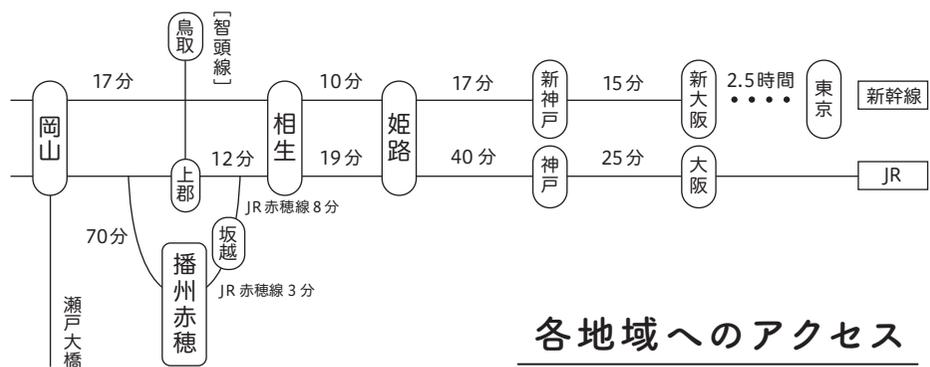


赤穂八幡宮秋祭り

## ＼やさしい地域の魅力／

日々の暮らしの中でも、素朴な「人」のあたたかさに触れることができる赤穂。移住者を快く受け入れる地域のやさしさも魅力です。伝統的な祭りも大切に継承されるなど、地域の繋がりの強さも実感することができます。

# 赤穂市MAP



## 各地域へのアクセス

## 教育施設

小	公立小学校	10
中	公立中学校	5
認	私立認定こども園	1
保	私立保育所	1
幼	公立幼稚園	10
保	公立保育所	6
高	高等学校	1
大	大学	1
特	特別支援学校	1

## 大型公園

- 野中・砂子公園
- 赤穂海浜公園
- 東浜公園
- 塩屋公園

## 公共施設

- 市立児童館 4
- 赤穂市役所
- 日本海水赤穂ライブラリー (赤穂市立図書館)
- 赤穂化成ハーモニーホール (赤穂市文化会館)
- 品川リフラ赤穂市民総合体育館 及び赤穂城南緑地運動施設
- 赤穂すこやかセンター
  - ・保健センター
  - ・子育て世代包括支援センター (えるふあルーム)
  - ・乳幼児一時預かり保育室
  - ・赤穂市児童発達支援事業 「あしたば園」

## 移住者の強い味方たち

### 縁を繋ぐ「えにしハウス」

江西さん宅には移住者の友人がよく集います。「えにしハウス」と呼ばれるご自宅で、自身も移住者として暮らしながら、ご縁のつながる場を生み出しています。暮らしやすく温かな地域の魅力を実感しながら、理想の暮らしを実現しており、移住を考える人にとつての良き理解者です。



江西さん ご夫妻



移住者が集う憩いの場「穂愛留(ほめ〜)」定年後、自身も移住者として赤穂の高齢者大学に通った経験から、地域交流団体「ほめ〜」を立ち上げた榎田さん。赤穂の地をこよなく愛し、移住者で集まるサークルのような場を作ること、みんなが安心して過ごせる環境を作っています。現在は牟禮さんが5代目の会長をつとめています。



牟禮さん(左) 榎田さん(右)



### 移住者を支える地元の力

松本さんは尾崎地区で不動産業やテニスクラブを運営。空き店舗を活用し、DIYで低コストにお店を始められる仕組みを整えています。音楽イベントなど、移住者をはじめとする人が集い交流する場づくりを通して、地域に新しい風を生み出す力強い味方です。



松本さん



お問い合わせ先：一般社団法人あこう魅力発信基地 TEL: 0791-43-6931



### 二つの日本遺産

江戸から明治にかけて全国で活躍した北前船の寄港地の一つとして栄えた「坂越湾の歴史文化」と、「赤穂の塩」のストーリーは赤穂市が誇る日本遺産に認定されています。

# 赤穂市のお役立ち情報

赤穂市では、移住定住支援や生活支援のほか、子育て支援、医療、教育などあらゆる方面の暮らしに役立つ情報を発信しております。それぞれ詳細情報は二次元コードやお問い合わせ先からアクセスし、ご利用ください。

## 子育て支援情報



## あこう子育て応援ブック「ぴよぴよ」

子育てに関する様々な情報を1冊にまとめた、あこう子育て応援ブック「ぴよぴよ」。



◀こちらの二次元コードからダウンロードできます。

## お住まい情報



## お試し暮らし住宅

赤穂市への移住を検討されている方を対象に、赤穂市での暮らしを体験していただける「お試し暮らし住宅」を2棟ご用意しています。

市南部の市街地にある「海浜町お試し暮らし住宅」と、より豊かな自然が広がる市北部にある「有年お試し暮らし住宅」、ご希望の地域やご利用期間に合わせてお選びいただけます。

(一社)あこう魅力発信基地 TEL: 0791-43-6931

## 東京圏から移住される方への支援事業

東京圏からの移住を伴う就業・起業者等で所定の要件を満たす方に「移住支援金」、東京圏からの移住を伴う就職をする学生で所定の要件を満たす方に、「地方就職支援金」を支給しています。

(一社)あこう魅力発信基地 TEL: 0791-43-6931



## お仕事情報

## あこう地域未来創業サポート補助金

市内で創業・第二創業される方を対象に、創業費用の一部を支援しています。

空き家・空き店舗の活用や“まちにないしごと”への挑戦には、より手厚いサポートをご用意しています。

商工課 TEL: 0791-43-6838

## 就農支援

次世代を担う農業者となることを志向する49歳以下の方に対し、農業次世代人材投資資金(就農準備段階や経営開始時の早期の経営確立を支援する資金)を交付しています。また、農地の相談、地域や関係機関との調整など、スムーズな就農を支援しています。

農林水産課 TEL: 0791-43-6840

## 子育て支援施設の充実

市内には、積み木やすべり台などの玩具・遊具、絵本を備えた児童館が4館あるほか、就学前の子どもとその親を対象とした子育て学習センターもあり、様々な行事のほか、子育て相談も実施しています。

子育て支援課 TEL: 0791-43-6808

## 病児・病後児保育事業

保護者の就労等により、家庭での保育が出来ない病気中や回復期の児童(生後6か月～小学校6年生)を、一時的にお預かりしています。

子育て支援課 TEL: 0791-43-6808

## 幼児2人同乗用自転車購入助成事業

小学校就学前までの幼児を2人以上養育している保護者に対し、幼児2人同乗用自転車の購入費用の一部を助成しています。

子育て支援課 TEL: 0791-43-6808

## 妊婦支援給付金及び包括相談支援事業

妊娠期から出産・子育て期まで切れ目なく身近で相談に応じる「妊婦等包括相談支援」とともに「妊婦支援給付金」を支給しています。

保健センター TEL: 0791-46-8701

## アフタースクール(学童保育)の実施

放課後、就労などにより家庭に保護者がいない小学生を対象に、安心して過ごせる集団保育の場を提供しています。土曜日、夏休み等の長期休業中にも実施しています。

生涯学習課 TEL: 0791-43-6858

## 第3子いきいき子育て応援事業

3人目以降の子を出産したとき及び、3人目以降の子が小学校又は中学校に入学したときに赤穂商工会議所が発行する商品券を支給しています。

子育て支援課 TEL: 0791-43-6808

## 子どもの医療費無償化

高校生年代(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの医療費を所得制限なしで無償化しています。

医療介護課 TEL: 0791-43-6820

## すこやかギフト定期便

令和7年4月以降出生されたお子さん一人につき3回、育児用品(紙おむつ等)をお渡ししています。

保健センター TEL: 0791-46-8701



## 移住に向けてのサポート情報

移住後のよくある質問の中から、電気・ガス・水道などのライフラインに関する情報や災害に関する情報など、日々の暮らしに役立つ各種情報をまとめています。二次元コードからご確認いただけますので、ぜひご利用ください。